

発表日：2014年10月17日

# “ダブル松江観光大使”による初コラボプロジェクト 作家・木原浩勝 × 監督・FROGMAN 松江市を舞台にしたオリジナル新作怪談のアニメ化決定！

株式会社ディー・エル・イー（本社：東京都千代田区 代表取締役：椎木隆太、以下 DLE）は、島根県松江市の「怪談のふるさと 松江」PRの一環として、作家・木原浩勝さんと映像クリエイター・FROGMAN の両「松江観光大使」が初めてコラボレーションした原作：木原浩勝さん、監督：FROGMAN のオリジナル新作怪談アニメを発表いたします。



## ■「怪談のふるさと 松江」PRの新たな展開

島根県松江市は、かつて小泉八雲が暮らし、代表作『怪談 KWAIDAN』の舞台となった土地です。松江市は2013年11月に「怪談のふるさと 松江」を宣言し、東京・日本橋にある「にほんばし島根館」（島根県アンテナショップ）での「怪談」をテーマにしたイベントを皮切りに、小泉八雲の記した怪談や関連史跡を中心としたさまざまなPRを実施しています。今回、松江市を舞台としたオリジナル新作怪談のアニメ化によって、新たな松江ファンの創出を図ります。

## ■木原浩勝×FROGMAN 「松江観光大使」の2人による異色の初コラボ！

代表作『新耳袋』『九十九怪談』シリーズなど、現代の怪談を書き続ける作家の木原浩勝さん、そしてアニメ『秘密結社 鷹の爪』の映像クリエイターのFROGMAN が、共に島根県松江市の「松江観光大使」という縁で初のコラボプロジェクトを発足、「松江の怪談のアニメ化」を実現しました。

今回、木原浩勝さんとFROGMAN は新たな怪談・怪異体験を収集すべく松江市で取材を敢行しました。現地の飲食店店主や会社員、主婦などから広く体験談を募集し、厳選したエピソードをベースにした新作の怪談を木原さんが編集し原作を書き下ろし、FROGMAN が監督しアニメ作品『平成松江怪談』としてまとめました。木原さんの怪談を原作としてアニメ化するのは今回が初となり、本編中には同じく初アニメ化された木原さんご本人も登場します。

## ■木原浩勝プロフィール



大阪芸術大学芸術学部映像計画学科を卒業。創立時スタジオジブリ入社。宮崎駿監督の下で制作進行として『天空の城ラピュタ』、制作デスクとして『となりのトトロ』『魔女の宅急便』を手がける。退社後、現在のJホラーや「実話」怪談ブームの原点となった現代の百物語『新・耳・袋』（扶桑社）により作家デビュー。累計130万部を超えるミリオンセラーとなり、TVドラマ・映画化（BS-TBS）、DVD（キングレコード）、舞台・朗読会（タンバリン）、ゲーム（メトロ）、携帯サイト（NTTドコモ、au、SoftBank、Willcom）、コミック（ホーム社）とマルチメディア展開を図る。また、コンセプトライターとして企画・構成ブレーンを務めた『空想科学読本』（宝島社）シリーズは300万部、他、漫画原作、特撮映像研究、イベントの司会を行うなど幅広いジャンルで活躍。近著に『九十九怪談 第七夜』『隣之怪 第六夜 白刃の盾』（角川書店刊）、『道玄坂怪異サブライン 707』（松田朱夏共著 主婦の友刊）など。2013年より小泉八雲曾孫小泉凡氏との「松江怪談談義」イベントを機に、『怪談四代記』（小泉凡著 講談社刊）の出版プロデュースをする他、2014年夏に松江観光大使に任命され「怪談のふるさと松江」のPRを行っている。

## ■株式会社ディー・エル・イー 会社概要

キャラクターの新規開発からキャラクターを活用したマーケティング・サービス、スマートフォンアプリ等の企画開発等、映像コンテンツの企画製作及びメディア展開プランの策定・実行までを統合的に手掛けるファスト・エンタテインメント事業を展開。

DLE 代表取締役である椎木隆太が2001年に創業し、2005年にFlashアニメスタジオをスタート、その後、米国ハリウッド・メジャー型の著作権ビジネスモデルを、インターネット時代に適合したファスト・エンタテインメントモデルへ進化させたことで急成長し、2014年に東証マザーズへ上場。

本件に関するお問合せ：株式会社ディー・エル・イー (<http://www.dle.jp/>)

TEL：03-3221-3980 FAX：03-3221-3690 email：[ir@dle.jp](mailto:ir@dle.jp) 担当：岡部